

中小企業向け省エネルギー設備等導入支援業務公募型プロポーザル選定委員会
議事要旨

令和5年3月28日
環境政策課

中小企業向け省エネルギー設備等導入支援業務公募型プロポーザルについて、中小企業向け省エネルギー設備等導入支援業務公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」）での審査を踏まえ、次のとおり候補者を選定した。

1 候補者

候補者	株式会社 YMFG ZONE プラニング
代表者	代表取締役 藏重 嘉伸
住所	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号
契約期間	令和5年4月4日から令和6年3月29日（予定）
申請提案額	18,169,360円（予定）

【選定理由】

審査会において、応募者から提出された事業提案書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

その結果、評価項目とした「事業者カルテ」「伴走支援」において、

- ・事業者カルテの具体性
- ・適切な設備投資計画書等の作成期待度

などが、優れていると評価された。

2 会議の概要

開催日時	令和5年3月28日（火）14:00～15:00
開催場所	オンライン
議題	中小企業向け省エネルギー設備等導入支援業務の公募型プロポーザル審査

3 応募者（順番は申請順）

応募者名		住所	代表者名
A	株式会社 YMFG ZONE プラニング	山口県下関市竹崎町四丁目 2 番 36 号	藏重 嘉伸
B	しんきん地域創生ネットワーク株式会社	東京都中央区日本橋本町 4-12-20	高田 眞

4 中小企業向け省エネルギー設備等導入支援業務公募型プロポーザル候補者選定状況

(1) 選定委員

委員	福田 幸作（広島県環境県民局総括官（環境）） 渡邊 哲也（広島県環境県民局環境政策課長） 岡田 誠司（広島県環境県民局環境保全課長） 出射 太（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（ものづくり・新産業支援）） 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進））
----	---

(2) 審査基準及び結果等

県は、2050年ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進しており、中でも自主的な取組みの遅れが懸念される中小企業に対し支援が必要である。本業務の狙いは、事業者の現状や課題に沿った適切な支援を通じて、設備投資を促進させることであることから、「事業者の選定」、「事業者カルテ」及び「伴走支援」の内容に重点をおいて審査を行った。

審査項目	審査基準	配点 ウェイト	応募者		評価及び選定理由
			A	B	
1 事業者選定	幅広い業種の県内中小企業とコネクションがあり、環境対策に意欲的な企業や省エネ対策の実施効果の高い企業を選定することができる。	50	42	40	・ A、Bともに県内中小企業との強いコネクションを有していると認められる。 ・ Bは、事業者選定のプロセスに具体性を欠いている。
2 事業者カルテ	県内中小企業者の現状について深く把握しており、精度の高い事業者カルテ作成が期待できる。	50	36	32	・ Aの方がより具体的な提案内容になっている。

3 伴走支援	企業の補助金申請を支援した経験や、自治体からの企業支援関連の業務受託実績を有している。	25	17	16	
	中小企業の現状や課題を踏まえた適切な設備投資計画書等の作成が期待できる提案となっている。	50	38	30	・ Aの方が、国の機関等との連携の経験などから、適切な設備投資計画書等の作成が期待できる。
	中小企業にマッチする補助金等の提案及びきめ細やかな申請支援により、企業の補助金活用促進が期待できる提案となっている。	50	34	32	・ Aの方が、国の機関等との連携の経験などから、対象企業に最適の補助金活用の提案が期待できる
4 業務報告書	県内中小企業に対し、当該業務での支援内容を広く周知でき、かつ、横展開の参考となる事例集の作成が期待できる。	25	19	15	・ 顧客層を考慮した場合、Aの方がやや規模感のある事例が期待できる。
5 実施体制	スタッフの配置等業務実施体制が適切で、実施スケジュールにも無理がない内容となっていること。	25	18	16	・ Bは、関連金融機関への依存度が高く、自社の体制がやや弱く感じられた。
	自社又は外部ネットワークとの連携により、支援事業者からの様々な問い合わせに対応できる体制を有している。	25	17	17	・ Bは、地域に根差した関連金融機関のネットワークとの連携で、対象事業者の手厚いフォローが期待できる。
合 計 点 数		300	221	198	

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。